

社協だより 萩

Vol. 59

2014
12/1



長崎がんばらんば大会
フライングディスク
金メダル 木原光明さん

12月3日から9日は 「障害者週間」です

12月9日は、1975年の国連総会で障害者の権利宣言が採択された日です。また、障害者基本法では、12月3日から9日までを「障害者週間」と定めています。
誰もがいきいきとした生活を送ることができる地域、そして必要な場面でさりげない手助けができる、そんな人がたくさんいる地域にしていきたいものです。



生活課題を地域で考える！

本会では、小地域福祉活動推進事業に取り組んでいます。この事業は、私たちの生活課題をより身近なところで考え、解決していこうとするものです。むつみ地域と旭地域の活動を紹介します。

むつみ元気支援隊

ちよつとしたことだけど、お役に立てればうれしい

高齢化率が50%を超え、日常生活の課題を共有し、その解決について協議する中、地域の要望で気軽に立ち寄られる交流の場所「ひだまりの里」ができました。そこには元気支援隊員が当番で常駐し、話し相手や相談が気軽にできるようにしています。



●むつみ愛サービス

ご存じですか？
むつみ元気支援隊

「ちょっとしたことでも気軽にできるサービス！」

聞いたことあるけど一体何をしてくれるんだろう？

毎月の生活の中で、ちょっとした生活課題でも気軽に相談できるサービスです。地域内、市町村、関係機関など連携して、1日30分程度、100円で実施いたします。支援者のメンバーは、同じ地域の活動家たちで構成されています。

どんなサービスも、お気軽に相談してください。

連絡先 むつみ元気支援隊
〒920-0001 石川市旭町2-1-1
(ひだまりの里 内)
TEL 08388-6-0118

高齢者のちよつとした困りごとの支援や見守りを行うため、「むつみ愛サービス」を昨年の8月から開始し、ゴミ出し支援、灯油入れ、雪かき、蛍光灯の交換など行いました。支援隊の方針は、

できる人が
できることを
できる時にする

ということが無理なくサービスをすることです。そのため、たくさんの人材が必要となり、小地域福祉活動推進委員会の皆さんを中心に、人から人へ、仲間から仲間へ声をかけ、現在43名が隊員に登録しています。

●ひだまりサロン

「ひだまりの里」では、月に1回花見、そうめん流し、餅つきなどの季節行事や地域の子どもたちとの交流も行っています。

また、毎週月曜日には高齢者のサロンが行われ、20名近くの高齢者が集まり、自分たちで活動を考えながら、一日を楽しく過ごしています。



毎月1回、水曜日には男性サロンが行われ、史跡巡りや施設の庭木の剪定、そして小学校の子どもたちと伝承遊びやどんど焼きなど行っています。

●これから



むつみ元気支援隊が発足して1年経ちました。隊員43名は、我がふるさとを大切に思い、むつみの皆さんが安心して暮らせるように日々活動しています。

訪問活動を通して、地域の中でたすけあいがたくさん行われていることに気付かされました。その関係も大切に、隊員として初心を忘れず、皆さんに愛され親しまれる団体でありたいと思います。



住みやすい明木を育てる会

何をしたらいいの？ どうしたらいいの？

設立から7年。地に足をつけた活動を目指して！

始まったころは

委員…何をしたらいいのか、この会議がどこへ向かうのかも分からないまま、住民アンケートをしたり、マップを作ってみたりしました。机についての話し合いがほとんどでしたね。

委員…「本当にこれでええんじやろうか」と毎回思っていましたね。

試行錯誤を繰り返し

委員…サロンで何をやるのかと悩んでいる声があれば、サロンのお世話人の連絡会をしたり、ゴミ出しが大変だと聞けば、明木内にあるゴミ箱を全部見て回ったり、試行錯誤を繰り返していました。

委員…「住みやすい明木を育てる会」という名前も何かおそれ多いよね。

委員…私たちが地域に育てられてるんだと思いますね。

委員…名前負けせんようにやらんといけんなって思います。

次につながる活動を

委員…住民福祉講座を自分たちで企画から運営まで全部して、とても良い経験になりました。

委員…私も会に入ってからまだ日が浅いけど、住民福祉講座に初めて参加して、明木にこんな会があるって知ったんよね。

委員…大変だったけど、それが次につながってきてるわよね。

委員…やることに自信がついてきたし、経験が糧になっているんだなあ、と思います。



(上) たいやきサロンでの昼食
(下) イベントでのたいやき出店

やっと…やることが見えたかな

委員…集落サロンも今以上に増えないけれど、身近なところに集まれるところがあつたらいいなあ、とずっと思っていて。

委員…お茶飲みながら、世間話して、お昼ご飯食べてね。それで、サロンを毎月やってみようってことになり、「たいやきサロン」を始めました。

委員…試行錯誤しながらやってきたけど、やっと地に足がついてきたかな？「住みやすい明木を育てる会」という名前も知れてきたような気がします。

委員…今までは「本当にこれでええんじやろうか」と思ってたけど、「これでいいんだ」と進めるようになりました。

委員…最近では明木のお祭りやイベントで「たいやき」を出店して、共同募金へ寄付をしているよね。

委員…共同募金がまた明木のためになればなあ、と思います。

委員…毎月のサロンや福祉講座を開いたり、生活の困りごとに少しでも応えられたらなあ、と思います。

委員…次は、私たちがお世話にならんといけんからね。

声

こえ

足が悪くなり重たいゴミ袋を抱えて400mの坂道を下り、
ゴミ置き場まで行くのが大変でした。(80代女性)

「住みやすい明木を育てる会」の委員さんに相談したところ、区長さんにつないでいただきました。区長さんも区内で話し合いをしてくださり、既存の区内のゴミ箱を行政とも調整し、家の近くに移してくださいました。私一人では、なかなか言いづらかったのですが、声をつないでいただき助かりました。大変幸せています。

自分たちの町内会は 自分たちの力で…

三見地区各種団体連絡協議会の保健・福祉部会は、6月に地域を見守るため、マップづくりの勉強会を開催されました。その後、三見飯井町内会では、実際にマップを広げ、普段の付き合いの中から、気になる人について話し合い、見守り活動につなげられました。今後は、災害時の対応についても話し合われる予定です。

普段の付き合いから

まず、自分たちが普段暮らしている地域を再確認するため、民生委員の手作り地図を使いながら町内の役員で話し合いました。

地域で暮らしている一人ひとりの情報はもちろん、地域内で危険な箇所や空き家情報など、様々な話の中で、気になる人を見つけていきました。

町内の役員はいろいろな情報を持っておられます。それは、同じ地域で暮らしているからこそ分かる情報ですが、個人情報でもあるため、気をつけていくことを確認しました。

気になる人について

「一人暮らしの方は、何かにつけ気になる」「あの人は足が悪くなった」など、気になる人について、役員2名で訪問し、決まって出かける曜日を確認したり、新聞や牛乳などの配達について聞き取りをされました。そして、それをマップに書きこみ、見守りについて話し合われました。

その結果、見守りをしていく上で、本人に負担をかけないようにすること、また見守る方にも負担がないように工夫するようにしました。

話し合いの中で

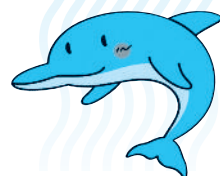
聞き取り調査では、「今は何とかできているが、ゴミ出しができなくなったら、手伝ってもらえないか」という相談もありました。この課題は、役員会や町内会などで引き続き話し合うことにしました。

また、この夏も岩国市や広島市で豪雨災害が起こったことに触れ、「もし、この地区で災害が起きた時、どう対応したらよいだろうか。昼と夜、平日と休みの日では対応も変わるだろう」「災害対応については、改めて町内会で減災マップを作ろう」と、話題は尽きませんでした。このように、参加された皆さんか



らは、「自分たちで自分たちの地域を守ろう」という気持ち伝わってきました。今後は、地域の課題が見つかったら、その地域で解決できるのではないかと期待しています。

お話し相手ボランティア「いるか隊」勉強会



●お話し相手ボランティア「いるか隊」

一人暮らしの高齢者や日中一人で過ごすことを不安に思われる人たちに、お話し相手ボランティアを、という相談が寄せられています。そのような方のお話し相手になることを目的としたボランティア活動です。

●勉強会の開催

昨年は、いるか隊の隊員を新たに募集し、認知症について学びました。今回は、精神に不安を抱え、一人の時間を不安に感じておられる方との接し方について、荻病院の精神保健福祉士である二本樹さんを講師として招き、勉強会を開催しました。精神障がいやうつ病などの症状について説明を受け、自分たちがどのようなことに気をつけなければならないのか学びました。

後半は、今後の活動の参考になるようにと、話のネタ作りとして折り紙や童謡などを紹介しました。

●今後の活動

個人宅や施設での活動を目指し、定期的にニーズに応じた勉強会を開き、いるか隊の隊員を増やし、少しでも多くの方が安心して地域生活を送れるように応援していきたいと思っています。



地域と学校をつなぐ福祉教育体験学習サポーター

福祉教育体験学習サポーターとは

荻市内の小学校・中学校・高等学校や地域のイベントに出向き、福祉教育プログラムの企画者と協力し、体験学習がスムーズに進行するようにサポートする人のことです。

例えば

- ① 高齢者疑似体験用具の着用補助
- ② 車椅子体験の補助
- ③ 体験学習中の見守りなど

養成講座の実施

1日目は「福祉教育とは」「高齢者疑似体験の方法」、2日目は「アイマスク体験の方法」「車椅子体験の方法」について講義を行いました。今後の福祉教育の必要性を踏まえ、各地域にサポーターを置くことを目的に、現サポーターのフォローを兼ねて行いました。プログラムの内容に沿って説明し、実際に体験をしながらサポーターとしての役割を考えました。

今後の活動



学ぶ一人ひとりに目が行き届くよう、また地域と学校をつなぐきっかけとなるよう、各地域でサポーター養成講座やフォローアップ研修を開催し、一人でも多くのサポーターを増やしていきたいと思っています。





善意銀行 ありがとうございます

香典返し・玉串料返し・花料返し

寄付者の承認を得たもののみを掲載しています。
※平成26年9月1日～10月31日受付分（敬称略）

氏名	住所	備考	金額
萩			
阿武 毅	前小畑1区	母／恭子	金一封
桐山 敬二	平安古西区の1	母／ユキ子	金一封
正木 義昭	三見石丸	母／秀子	金一封
木下 哲治	中津江の1	父／直	金一封
山根千鶴子	今古萩町の2	夫／靖生	金一封
伊達 良和	沖原	妻／和子	金一封
藤田 浩平	越ヶ浜4区の3	父／元太郎	金一封
根岸 貞子	川島3区の1	夫／昭典	金一封
池田日出夫	後小畑の1	母／ヨシエ	金一封
羽鳥 靖雄	船津の1	母／節子	200,000円
堀永 英二	東浜崎2区の1	母／静江	金一封
網屋 勝巳	熊谷町の1	母／桃代	金一封
岡崎 洋二	平安古西区の2	妻／明美	金一封
吉谷 剛	大井浦上	父／實	金一封
阿武 君代	平安古東区の4	夫／宏	金一封
藤田 和博	越ヶ浜1区の1	母／イサヨ	金一封
寺地 賢	堀内1区の3	妻／イマ	金一封
西村 満	上野の2	父／弘	金一封
福永 敦志	倉江の2	父／精	金一封
金子 國香	三見浦4	母／富美枝	金一封
木村 清次	三見石丸	母／ハル子	金一封
安藤 洋子	雑式町	夫／弘文	金一封
西本 誠	無田ヶ原口の2	父／光晴	金一封
金谷 米光	大井浦中	母／ソヨ子	金一封
中野 厚子	東田町東区の1	夫／忠男	金一封
白神 恵子	平安古東区の2	父／允和	金一封
吉村 一生	大島東	母／マツヨ	金一封
川 上			
増山 静子	川上山田	夫／伸夫	金一封
金子 豊子	杣木谷	夫／哲夫	金一封

氏名	住所	備考	金額
金子 良明	白上	父／繁男	金一封
長嶺タミ子	立野	夫／梅寿	金一封
田 万 川			
山根つた子	下郷	夫／文明	金一封
水澤 和江	土居	夫／俊彦	金一封
安達 恵子	山口市大内矢田	母／松原ヒサエ	金一封
野村 政勝	宮崎市新別府町	父／隆司	金一封
須郷 忠	小川16区	父／實	金一封
む つ み			
佐伯 清	市上	父／正一	金一封
須 佐			
恵本 榮一	浦中	父／清一	金一封
芳川ヤスエ	弥富8区	夫／久治	金一封
海老谷光子	水海	夫／正人	金一封
大谷 春代	弥富8区	夫／盛政	金一封
大賀 進	高山	子／基博	50,000円
松原 宗生	下三原上	父／靖介	金一封
亀石 久代	浦西	母／房恵	金一封
工藤 昌憲	弥富13区	父／俊幸	金一封
久保 隆	本町上	父／政継	金一封
小西 政夫	まてかた	父／次雄	50,000円
旭			
藤田 勝美	長瀬	母／時子	金一封
山根 初江	長瀬	夫／幹夫	金一封
福 栄			
木村 秀彦	畑	母／延子	金一封
杉山 久信			
伊藤 慈悟	吉田	弟／寿英	金一封
作間 保	黒川	母／幸子	金一封
山本佐智子	向山	夫／稔男	300,000円
末田 嘉男	小野田	母／タケ	金一封

一般寄付

氏名	住所	備考	金額
萩			
匿名			3,000円
田原 薫	江向1区の3		金一封
常盤島観月茶会遠州流 大谷宗美	平安古東区の3		20,000円
山口銀行萩支店行員一同	東田町東区の2		190,000円

物品寄付

物品名	氏名	住所
福 栄		
肌着類	田邊 梅子	京場

氏名	住所	備考	金額
む つ み			
片俣八幡宮	中橋		金一封
福 栄			
服部 正子	紫福長尾		10,000円

(香典返し・一般寄付合計 66件3,147,000円)

善意銀行は、地域福祉活動推進の貴重な財源となっています。どうかご協力ください。

前号7ページに、次のとおり誤りがありましたので、お詫び申し上げます、訂正いたします。

(正) 旭 オムツ等 林 祐史 (誤) 裕史

お知らせ

萩社協職員募集

大島保育園及び萩市見島保育園の職員を募集します。

- 職種・募集人員 各園保育士1人
- 受験資格 昭和49年4月2日以降に生まれた方(満40歳以下)で、保育士資格を取得した方または平成27年3月に保育士資格を取得見込みの方(採用後、大島・見島に居住できる方)
- 募集期間 平成26年12月8日(月)～平成27年1月9日(金)
- 試験日時・試験内容 平成27年1月25日(日) 10:00～
作文・面接
- 採用予定日 平成27年4月1日
- 申込方法 次の提出書類を郵送または持参
- 提出書類 ①市販の履歴書(写真添付)
②最終学校卒業(見込)証明書
③保育士証の写し
※郵送の場合 当日消印有効
※持参の場合 募集期間中の土・日曜日、祝日、12月29日～1月3日を除く午前9時～午後5時30分まで
- 問い合わせ 〒758-0041 萩市江向356-3
萩市社会福祉協議会総務課
電話 0838-22-2289
萩公共職業安定所へ求人票を公開

第5回高齢者虐待防止研修会

高齢者虐待に関して理解を深め、高齢者や介護者を見守り、支え合う地域のあり方について皆さんと一緒に考えましょう。

- 日時 1月25日(日) 13:30～
- 場所 萩市地域医療連携支援センター(萩市平安古)
- 入場料 無料
- 講演 「笑う門にはいい介護(仮)」
中村 学さん
(かじ山荘デイサービスセンター施設長)
- 問い合わせ 萩市社会福祉協議会本所・各事務所

“ご縁ちゃん”マスコット誕生!

平成25年7月28日の萩市東部集中豪雨災害により、被災した地域とボランティアをつなぎ、地域に元気と笑顔が広がるよう“ご縁ちゃん”マスコットキャラクターデザインを募集しました。地域の子どもたちをはじめ、たくさんの応募がありました。

審査をした結果、次のとおり決まりました。

●最優秀賞



田万川中学校1年
安達汐里さん

～作品説明～

町全体が、花がいっぱいあって、明るい地域になってほしいので、お花のマスコットにしました。

- 元気賞 育英小学校4年 田中友紀乃さん
- 笑顔賞 育英小学校6年 廣兼颯哉さん

全国から応援してくださるボランティアと地域の皆さんとの“縁”を大切に、この“ご縁ちゃん”が親しまれることを期待しています。

編集室

歳末たすけあい募金の時期になりました。この時期になると年末を感じる方も多いのではないのでしょうか。

自分たちの地域は、そこに暮らしている私たちに優しいものであるのか、今一度、振り返ってみませんか。

誰もが暮らしやすい地域を夢みて、新しい年を迎えましょう。(も)

第9回

しあわせ写真コンテスト 入賞作品決定!

今年も多彩な作品が集まり、楽しい審査となりました。
カメラが生活の一部となり、人生に彩りを与え、すばらしい思い出づくりとなっていることを実感することができます。
電子メールでの応募も増え、この分野でもさらなる期待ができるのは、今年の収穫でした。

審査委員長 下瀬 信雄



金賞「ぎゅうぎゅうなお風呂」 富田 信也さん



「自然の遊具」



「笑顔に咲く」



「仲良き哉」



「ひとやすみ!ひとやすみ!」



「いつまでも笑顔で」



「萩の砂、キレイ!」



「夏祭りだ イエーイ」



「これからの2人にカンパイ!!」



「逆さまの世界は...!？」



「おばあちゃんあのね」

募 集:8月1日~9月13日

応 募:44名79作品

最年少:15歳

最年長:82歳

入 賞:16作品